

教養試験（一般事務員（初級））

【例題1】 次のア～ウは、日本国憲法における人権に関する記述である。各記述中の下線部分の正誤をいずれも正しく示しているのはどれか。

- ア. 平等権は、全ての人が差別なく平等な扱いを受ける権利である。全て国民は法の下に平等であり、夫婦は同等の権利を有することなどが定められている。
- イ. 自由権は、国家のいきすぎた命令や強制から、個人の自由を保障する権利である。このうちの表現の自由は、思想・良心の自由と同様に、社会を発展させるために欠かせない権利とされ、公共の福祉を理由として制限することは許されない。
- ウ. 社会権は、国家に対して人間たるに値する生活を要求する権利である。このうちの生存権は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利である。

- | | ア | イ | ウ |
|----|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 誤 |
| 4. | 誤 | 正 | 正 |
| 5. | 誤 | 誤 | 正 |

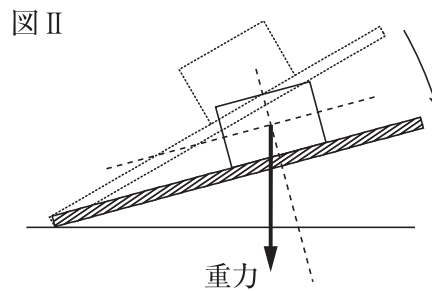
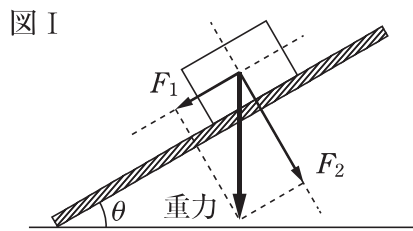
【正答 2】

【例題2】 斜面上で静止している物体に働く力に関する次の文中のア～ウの { } 内からいずれも妥当なものを選んでるのはどれか。

図Iのように、水平となす角が θ の粗い斜面上で物体が静止している。この物体には、重力のほかに、斜面と接している面に垂直抗力及び摩擦力が働いている。図Iに示したように、重力は斜面に平行な方向の力 F_1 と斜面に垂直な方向の力 F_2 に分解することができる。摩擦力は F_1 と釣り合っているので、摩擦力の向きはア $\left\{ \begin{array}{l} F_1 \text{と同じ向き} \\ F_1 \text{と逆向き} \end{array} \right\}$ であ

り、摩擦力の大きさはイ $\left\{ \begin{array}{l} F_1 \text{より大きい} \\ F_1 \text{と同じである} \end{array} \right\}$ 。

いま、図Iの状態から図IIのように θ を小さくしたとする。すると、物体に働く重力の大きさは変わらないが、重力を分解したときの斜面に平行な方向の力の大きさは変化する。このため、これに伴って、摩擦力の大きさは図Iの状態よりもウ $\left\{ \begin{array}{l} \text{大きく} \\ \text{小さく} \end{array} \right\}$ なる。



- | ア | イ | ウ |
|----------------|--------------|-----|
| 1. F_1 と同じ向き | F_1 より大きい | 小さく |
| 2. F_1 と同じ向き | F_1 と同じである | 大きく |
| 3. F_1 と逆向き | F_1 より大きい | 大きく |
| 4. F_1 と逆向き | F_1 と同じである | 大きく |
| 5. F_1 と逆向き | F_1 と同じである | 小さく |

【正答 5】

【例題3】3種類の飲物A, B, Cがある。値段の比はAとBが1 : 4, BとCが2 : 1であり, A, B, Cを1本ずつ買うと合計で560円になる。AとCの値段の差はいくらか。

1. 40円
2. 50円
3. 60円
4. 70円
5. 80円

【正答 5】